

Memento

書籍紹介

『改訂箕面市史 部落史 本文編』を読んで (1999年3月発行)

伊藤悦子

はじめに

部落問題に関する行政文書があると聞いて、箕面市の市史編纂室をお訪ねしてから数年が経った。その時見せていただいた原稿がようやく、日の目を見ることになったことを率直に喜びたいし、関係者の労をねぎらいたいと思う。

『改訂箕面市史 部落史』は、1964年から76年にかけて編纂された『箕面市史』の部落史に関する記述が少ないという反省から、市史の改訂を出す作業の第一着手として『部落史』から編纂することになったため、『改訂』の文字が挿入されているのである。部落史の編纂は箕面市内にある二つの部落からの要望を受けたものでもあった。

1990年12月から編纂が開始されたと「あとがき」に記されているから、およそ8年の年月をかけて本文編は編纂されたことになる。この『本文編』の他に『史料編』(1995年発行)、『史料編』(2003年発行)がまとめて昨年公刊(といっても、一般頒布はされていない)された。逆にいえば、95年発行の『史料編』は8年も倉庫で眠っていたことになる。編纂されたものの、1945年の時点で11世帯(桜ヶ丘)、46世帯(北芝)と、比較的小規模な部落であったこともあり、プライバシー問題に達着してしまったのである。刊行が遅れるとともに、史料編の人名はすべて記号化、本文編については許可が取れたもののみ人名を出すという形で

刊行された。

人名の記号化については、既に『こべる』125号(こべる刊行会刊、2003年8月)誌上で畑中敏之氏が「このような『秘匿』措置こそが、まさに部落差別を助長する所業だと考える」と「強い憤り」を表明している。ただ、この酷評は畑中氏の持論である地域史として描かれている部落史に対する批判の一環であり、『本文編』の内容についての内面的評価はほとんどなされていないといえよう。一方、『大阪の部落史通信』33号(大阪の部落史委員会刊、2003年8月)において小林文広氏が本文編及び史料編について、詳しく紹介するとともに内容についての評価も行っている。私自身も小林氏の紹介と評価は妥当な物だと思う。すなわち小林氏は「融和事業の具体的展開を、行政文書から克明に再現している」ことを高く評価しているのである。

1. 本書の特徴と内容

本書の特徴は、大切に保管されてきた箕面市域の旧村である萱野村、箕面村、止々呂美村の行政文書を丹念に翻刻し、それに基づいた緻密な論を展開している部分があるという点である。史料編の二冊はそうした行政文書が集録されている。その結果、本文編である本書は、650頁近い叙述のうち、前近代はわずか80頁ほどで後は近現代である。近現代は「第4章 部落問題の成立」(この章の名も独特であるが)から時代を追った叙述が始まり、「第11章 同和対策審議会答申以

降の動向と現在」という終章で1997年度までの同和事業について記述している。ただ、「第10章 北芝と桜ヶ丘の民俗」の「第2節 北芝・桜ヶ丘のくらしと民俗」が聞き取りを中心にした叙述になっているが、他は行政文書を中心に叙述されている。

このため、「部落史」というよりは「融和事業・同和事業史」に近いものになっている。また、当該の部落では水平運動がほとんどなく、融和運動の中心人物である人を「A」と表現せざるを得なかった状況もあったことからだと思うが、戦前の叙述は「人々の歴史」をあまり感じられない状況になってしまったのは残念である。しかし、そうした課題があるものの、本書は既存の部落史研究に一石を投じる論考も含まれていた。私は水平社成立以降についてしか論じる力量がないが、本書の「第7章 育英奨励事業」の章と「第8章第2節 アジア・太平洋戦争期の被差別部落」の同和事業の分析及び自作農創設事業、そして「第9章第2節 農地改革」については、その史料検討の緻密さに感心するとともに、そこから見えてきた史実に新しい発見を得ることができた。

2. 行政文書の分析から見た史実

「育英奨励事業」は京都府庁文書にも大量に残されているが、きわめて個人的情報であったことと膨大な量であったために、かつて『京都の部落史』の融和事業について執筆する際に史料検索すら放棄した覚えがある。そうした扱いにくい史料を駆使して育英奨励者の階層、中退状況、地域への貢献度を明らかにしている。こうした論考は部落史・教育史において皆無だったことから、その意味は大きいと言えるだろう。

また、自作農創設及び農地改革の叙述は、農村における、しかも農業を主とする部落の研究が少ないこともあって、私には興味深いものであった。すなわち、戦時期の農業振興の一環である自作農創設事業のなかで部落の農家の多くが土地を取得していく様子が見られるのである。こうした買い取りを支えた部落の経済力は、実は地方改善運動の進展で現金収入があったことと関連があるのではと思うが、その点は本書では不明である。

また、戦後の農地改革については、土地台帳を元にして関係する農家世帯の土地所有状況を1879年、1915年、1945年、1951年の各年度ごとに明らかにし、それ

を通じて部落の経済状況と階層構造を分析している。その実証的態度に圧倒されるほどである。そして結論的には自作、自小作への農地解放は小規模農家も含めて実施されたが、農業のみで自立できる農地の保障ではなかったことを指摘するとともに、農地解放の一つの意義は地主の差別的な対応から部落が解放されたことであると指摘されていた。

おわりに

以上のように、行政文書を駆使した「部落史」の意味は確認できるし、刊行された史料編が新たな部落史の論考への道を開いたという意味で、本書の意義は確認できると思う。

全体の叙述については、執筆者が多いためか叙述に精粗があり、また、全国 大阪 箕面の部落という論の展開がやむを得ないとしても、全国的な状況の叙述が多すぎると感じるものもあった。また、規模の小さい部落の詳細な歴史であることから、細かい政治的な駆け引きの叙述も含めて、きわめて「郷土史」的な叙述になってみえる。

被差別部落においても「郷土史」は編纂されるべきであるし、その郷土史の叙述において部落問題は抜きにできない。また、実際に地域の課題である部落問題や差別を具体的に検討するために、地域の通史を明らかにする以外に、一体どういう方法論があるだろうか。そういう意味で、地域ごとの部落の歴史は明らかにされるべきであるが、それが「部落史」という表現でくられることに、畑中氏の指摘するような意味で違和感を持つ部分もある。

問題は「郷土史」である個別の部落の歴史が、全体の歴史的な脈と関連づけられていない場合が多いことではなかろうか。近代部落史は全国的状況 部落の図式で描かれるが、部落 全国・全体状況がないのである。部落史を通して、私達は日本・日本社会の何を見ることが問われていると改めて感じた。

なお、本書及び史料編の三冊とも、関係機関等への寄贈のみで一般頒布はなされていない。問い合わせ先は箕面市行政史料・市史担当（電話072 - 721 - 9824）である。また、京都部落問題研究資料センターが所蔵していることを付け加えておく。

（いとう えつこ / 京都部落問題研究資料センター運営委員）

報告

部落史連続講座 『京都の部落史』にみる人びとの仕事と暮らし 第1回「古代の被差別民とその周辺」講師 井上満郎さん

中島智枝子

今年度の「部落史連続講座」では、この間の部落史研究がどのような点を明らかにしてきたかについて通史的に概観した昨年度の講座の内容を、時代ごとに一段と深め、具体的史料を通して、「それぞれの時代の賤民集団に属する人たちがどんな生活をしてきたかを、仕事（あるいは職能）を中心に考えていく」ことを主眼におき開かれることとなった。

講座第1回目は、昨年12月12日、井上満郎氏を講師に迎え、「古代の被差別民とその周辺」と題して行なわれた。

井上氏はこの時期の被差別民の実態を窺える史料は少ない、また法文の規定がどれだけ実態を反映しているかという点でも明らかではないと断られた上で、「日本書紀」、「古事記」、「続日本紀」等の史料を用いて、現在わかる限りで被差別民の周辺について次のような点を明らかにされた。

五世紀後半、大和の大王（のちの天皇）を中心とする国家システムが出来た頃に身分体系のいわば原型が成立したが、やがて中国伝来の身分体系と重層した形で日本古代の身分体系・身分制度が形成された。天皇を頂点とし、五賤が底辺に位置する良賤制の仕組みは垂直関係にある身分を示したものであり、法文の上では厳密に規定されているが、実際の社会の中での暮らしや位置付けは相当にわかりにくい。陵戸、官戸、家人、官奴婢、私奴婢が五賤であるが、これらは「賤」という位置付けをされた（「賤民」という用語は古代にはない）。この賤身分については天宝宝字8年（756年）に戸籍に「奴」と把握されたがこれは誤りで修正されたいという訴えが起こされ、この訴えは認められた。この百年後の貞観5年（863年）に重税を逃れるために一般公民が賤を名乗っている記録があり、「賤」が卑賤な身分として忌避すべきものとして認識されていたと同時に、一方では進んで「賤」になることもあった

ことが紹介された。

上記のような垂直な関係と共に、中央に服従しない辺境に位置する民を北狄、東夷、南蛮、西戎とした中国の中華思想をもとに、政治的、軍事的に服従しない人びとや集団は即異民族と把握され、「中華の区域外の東方にある異民族」ということから、大和政権・律令国家の征服の対象となった東北地方の社会集団を蝦夷と表記した。すなわち水平方向に社会外のものとして把握したのである。

蝦夷についての記述は「日本書紀」景行天皇40年条や「古事記」景行天皇段に見られるが、これらの記述は記・紀が特定の政治目的をもって編纂された書ということもあり、実情として捉えることはできない。「日本書紀」天武天皇11年4月条（682年）の記述あたりからが事実といえ、7世紀後半の天武・持統天皇期にいたって、蝦夷は律令国家の統治下に組み込まれた。蝦夷の実態についても詳細は不明で、「夷語」があり、「訳語人」（通訳）がいたなどという記述から大和と蝦夷の使っている言葉が異なっているとの説もあるが、言語体系が異なっているのか、今日で言う「方言」なのか不明である。さらに東北地方から伊予、筑紫、和泉等西国への強制移住がなされ、なかには防人として配されてもいる。また俘囚集団の中には「長」とされた人物が見られるし、また天長10年（833年）には筑後



国で「従八位上」の位を与えられている蝦夷もいて、これらの記述から豊かな生活を営む人々もいたことがうかがえる。元慶2年(878年)には蝦夷による領土回復運動(レコンキスタ)ともいべき出来事についての記述が見られる。これが蝦夷に関する、政治的ないわば抵抗運動の記述の最後のものであるということが明らかにされた。この水平方向では社会外に置かれた蝦夷を、身分体系の垂直の関係に置いてみると良に位置するだろう。被差別部落起源論の一つに蝦夷起源説ともいべき説があるが、蝦夷を被差別部落の起源と見ることが出来るかといえ、以上のような簡単な考察からもこのようなことはいえないという。

ところで、よく知られているように、桓武天皇の生母は百済系の渡来系氏族の出身である高野新笠である。高野新笠の父は和乙継であり、乙継の孫の家麻呂について、「人となりは朴訥たるも、才学なし」ということにもかかわらず桓武天皇の外戚というだけで大臣ク

ラスの中納言に昇進し、これが、「蕃人の相府に入るは、これより始まるなり」という「日本後紀」の記述について、「蕃人」として侮蔑の対象になっているようだが、これは「日本後紀」編さん時の意識であり、渡来系氏族出身の坂上田村麻呂をはじめとして多くの人びとを登用していることから、一般社会ではこのような見方があったとはいえないとのことである。最後に、延喜年間(901~923年)の法令により奴婢身分が消滅し、律令に規定された古代的な身分制は崩壊することとなった。

井上氏の講演を通して、蝦夷・夷・俘囚に関する数多くの史料の記述を読み解きながら、中央と辺境という地域的視角で日本の古代社会を見ることが出来たのではないだろうか。

(なかじま ちえこ / 京都部落問題研究資料センター運営委員)

収 集 図 書 (2003年10月~12月受入)

総記 逐次刊行物

週刊日本の美をめぐる(小学館刊, 2002.8~2003.4): 各560円 15: アニメのはじまり鳥獣戯画 21: 都のにぎわい洛中洛外図 27: 信貴山縁起と伴大納言絵巻 34: 竜安寺石庭と禅の文化 48: 地獄草紙と餓鬼草紙
論座 104号(朝日新聞社刊, 2004.1): 780円 対談「人間と差別を考える」(金時鐘, 藤田敬一)所収

総記 博物館

安倍晴明の虚像と実像 語られた歴史・由緒と被差別民(大阪人権博物館編刊, 2003.9) 特別展展示解説図録
特別展「井戸も掘る医者 ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画」図録(立命館大学国際平和ミュージアム編刊, 2003.5)
いま、共なる歩みを[展示パンフレット] ハンセン病問題に照らされる自己と教団(真宗大谷派刊, 2003.12) ギャラリー展パンフレット

江戸時代の大工さん 摂州大工仲間岸部組(吹田市立博物館編刊, 2003.10) 平成15年度特別陳列展示図録
史料センター十年の歩み展 部落史研究の過去・現在・未来(奈良県立同和問題関係史料センター編, 奈良県教育委員会刊, 2003.12) 奈良県立同和問題関係史料センター開所十周年記念展示 展示解説図録

部落問題 総記

大阪人権博物館年報 No.12 2002年度(大阪人権博物館刊, 2003.7)
第22回九州地区部落解放史研究集会資料(九州地区部落解放史研究協議会, 福岡県人権研究所刊, 2003.8)
テーマ: 非人と呼ばれた人たち
研究紀要 第4輯(兵庫県人権啓発協会刊, 2003.3)
「播州歌舞伎と柳田國男」(沖浦和光), 「丹波国における浄土真宗展開の一考察」(和田幸司), 「賀川豊彦没後の40余年」(鳥飼慶陽), 「荒木新太郎と兵庫県の同和教育」(大槻守)ほか所収
これからの同和行政・人権教育 ヒューマンブック

スなら5 (奥田均, 梅田昌彦著, 奈良県部落解放研究所刊, 1998.6) : 1,000円

差別 という名の暴力 果てしなきホープレス社会の病理 花園大学人権論集10 (花園大学人権教育研究センター編, 批評社刊, 2003.3)

第6回史実と授業の結合をめざして part2 [資料] ([福岡県人権・同和教育研究協議会, 福岡県人権研究所]刊, [2003.8]) 基調講演「新たな部落史像を求めて 近代編 『解放令』・水平運動・オールロマンズ闘争の真実」資料

KG人権ブックレット 7 (関西学院大学人権教育研究センター刊, 2003.12)

水平線の詩 ヒューマンブックスなら4 (川内俊彦著, 奈良県部落解放研究所刊, 1998.1) : 1,000円

水平社宣言を読む (住井すゑ, 福田雅子著, 解放出版社刊, 1989.8)

同和利権の真相 3 別冊宝島Real054号 (一ノ宮美成, グループ・k21編, 宝島社刊, 2003.11)

(社)部落解放・人権研究所としての第1次人権教育のための国連10年行動計画の総括を踏まえた第2次行動計画 (第一次案) (部落解放・人権研究所刊, 2003.10)

部落史と啓発を考える ヒューマンブックスなら3 (奈良県部落解放研究所編刊, 1997.6) : 1,000円

部落問題全国交流会 [資料] 第20回 人間と差別をめぐって ([部落問題全国交流会事務局]刊, 2003.10) 文教ニュース 14 人権教育特集 (佐賀大学文化教育学部人権教育推進委員会刊, 2003.3)

部落問題 差別事件・生活・宗教・労働問題・伝記

あいつぐ差別事件を闘って (大阪郵便局連合部落解放研究会刊, [198-])

2003年京都部落差別事件真相報告集会 (部落解放・人権政策確立要求京都府実行委員会編刊, 2003.12)

記録集八鹿闘争 (部落解放同盟兵庫県連合会刊, 2002.3)

食肉の帝王 巨富をつかんだ男 浅田満 (溝口敦著, 講談社刊, 2003.5) : 1,600円

人権相談ワークショップ まわりと私のつながりを

求めて (白井俊一著, 解放出版社刊, 2003.7)

人権のまちづくりガイドブック (『人権のまちづくりガイドブック』編集委員会編, 解放出版社刊, 2003.10)

全国のあいつぐ差別事件 2003年版 (部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会編刊, 2003.11)

父さんが, 父さんになったわけ 子どもたちへ100年分のメッセージ (みなみあめん坊著, 情報センター出版局刊, 1993.2)

被差別部落と京都再生のまちづくり (京都市人権啓発センター・ネットからすま編刊, 2003.3) : 900円

福田村事件の真相 第3集 関東大震災・国家責任と民衆責任 (『福田村事件の真相』編集委員会編, 千葉福田村事件真相調査会刊, 2003.3) : 600円

部落差別事象をめぐる憲法学的考察 差別立法措置をめぐる比較法的見地からの考察付 (山田和男著, 2003.1)

部落マイノリティ (出身者) に対する結婚忌避・差別に関する分析 (内田龍史執筆, 部落解放・人権研究所刊, 2003.3) : 1,000円

松本治一郎 西日本人物誌16 (福岡県人権研究所著, 西日本新聞社刊, 2003.11) : 1,500円

部落問題 歴史

近代社会における差別の史的研究 (新井勝紘, 守安敏司編, 国立歴史民俗博物館刊, 2003.3) 特定研究 近畿の村落社会と民衆 国立歴史民俗博物館研究報告第99集 太鼓・皮革の町 浪速部落の300年 (『浪速部落の歴史』編纂委員会編刊, 2002.11) : 2,000円

たしかめて 梅戸村の歴史 奈良県同和教育資料2 改訂版 (奈良県被差別部落史編集委員会編, 奈良県部落解放研究所刊, 1992.11) : 500円

たしかめて 近代の被差別部落 奈良県同和教育資料3 (奈良県被差別部落史編集委員会編, 奈良県部落解放研究所刊, 1991.9) : 500円

たしかめて 草場 奈良県同和教育資料1 改訂版 (奈良県被差別部落史編集委員会編, 奈良県部落解放研究所刊, 1992.11) : 500円

奈良県部落解放史年表・追録版 1990-2002 (奈良人権・部落解放研究所刊, 2002.5) : 1,000円

物語と史料で綴る新しい三重の部落史 第3集 (三重

県部落史研究交流会著，三重県厚生会刊，2002.10)

部落問題 同和行政

同和教育実態調査報告書（久留米市教育委員会，同和教育実態調査実行委員会編刊，1999.3） 閉架

同和地区の概要 昭和46年6月1日（奈良県厚生部同和対策室刊，1972.2） 複写 閉架

同和地区の概要 昭和50年6月1日（奈良県厚生部同和対策課刊，1976.2） 複写 閉架

部落問題 解放運動

緊急出版 人権擁護法案・抜本修正への提案 どこを、どう、変える？（部落解放・人権研究所編，部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会刊，2002.9）

差別意識を拡大し、部落解放運動の弾圧を狙う、地対室「啓発推進指針」を断固糾弾する！ 増補改訂（部落解放同盟中央本部編刊，1987.8）

自立・共生の部落づくり 奈良県部落解放研究所創立25周年記念シンポジウム 変貌する部落と今日の部落差別 ヒューマンブックスなら2（奈良県部落解放研究所編刊，1997.2）：1,000円

「人権の世紀」に向けて 転換期・奈良の部落解放運動 ヒューマンブックスなら6（奈良県部落解放研究所編刊，1999.7） 執筆：仲林弘次，福西満，柿本政秀，和田恵治：1,000円

新聞記事からみた水平社運動（田宮武編，関西大学出版部刊，1991.3）：9,321円

「水平社宣言」にみちびかれて（奈良人権・部落解放研究所編刊，2002.7）：1,000円

創立期水平社運動資料 第1巻～第4巻，解説・細目次 奈良県水平社資料集1（「（仮称）水平社歴史館」建設推進委員会編，不二出版刊，1994.9）：72,100円

第1巻 水平社一件記録，第2巻 水平社一件記録（続），第3巻 水平運動二関スル書類，第4巻 水平一件 他

奈良県水平社運動史 1 創立大会前後のようす（奈良県部落解放研究所水平社運動史部会編，奈良県部落解放研究所刊，1992.5）：1,000円

部落解放基本法制定要求国民運動京都府実行委員会大会議案書 第19回（部落解放基本法制定要求国民運動京都府実行委員会刊，2003.8）

部落解放同盟全国大会報告集 第60回 解放新聞号外（解放新聞社編刊，2003.7）

第19回部落解放矢田地区研究集会討議資料（第19回部落解放矢田地区研究集会実行委員会刊，2003.11）

三重県厚生会のあゆみ（三重県厚生会編刊，2003.3）

南王子村の水平運動（和泉市立人権文化センター編刊，2003.3） 「南王子水平社創立の歴史的意味 いかに部落青年は差別と向き合ったか」（朝治武），南王子青年団機関誌『國の光』総目次 所収

部落問題 教育

学力問題へのアプローチ マイノリティと階層の視点から（原田彰編著，多賀出版刊，2003.1）：7,200円

同和教育関係資料集（福岡教育大学人権教育推進委員会刊，1999.3）

同和问题研究資料 人権問題研究資料（龍谷大学刊，2003.3）

21世紀を人権文化の時代に 「国連人権教育の10年」推進のために IMADR-JCブックレット2（反差別国際運動日本委員会編刊，1996.12）

部落問題 文化

『破戒』と人権（川端俊英著，文理閣刊，2003.3）：2,551円

日本の差別問題

沖縄・天皇制への逆光 天皇制論叢9（新崎盛暉，川満信一編，社会評論社刊，1988.5）：2,600円

国際人権規約が問う日本の差別 第4回日本政府報告へのカウンター・レポート（部落解放研究所編刊，1998.5）

国際人権規約が問う日本の人権 第3回日本政府報告へのカウンター・レポート（部落解放研究所編刊，1992.9）

知っていますか？ドメスティック・バイオレンス 一問一答（日本DV防止・情報センター編著，解放出版社刊，2000.3）

人権の新しい地平 共生に向けて（岡村達雄，玉田勝郎責任編集，学術図書出版社刊，2003.2）：2,200円 住田一郎「部落問題の現在（いま）」所収

たったひとりのクレオール 聴覚障害児教育における言語論と障害認識(上農正剛著,ポット出版刊,2003.10):2,700円
 <民が代>斉唱 アイデンティティ・国民国家・ジェンダー(鄭暎恵著,岩波書店刊,2003.8):2,800円
 マイノリティ女性の視点を政策に!社会に!女性差別撤廃委員会日本報告書審査を通して 現代世界と人権17(IMADR-JCマイノリティ女性に対する複合差別プロジェクトチーム編,反差別国際運動日本委員会刊,2003.10)

各国の差別問題

国際人権条約の締結と日本の人権 現代世界と人権10(反差別国際運動日本委員会編刊,1996.5)
 マヤ先住民族 自治と自決をめざすプロジェクト(IMADR-MJPグアテマラプロジェクトチーム編,反差別国際運動日本委員会刊,2003.5)
 「ロマ」を知っていますか 「ロマ/ジプシー」苦難の歩みをこえて IMADR-JCブックレット8(IMADRロマプロジェクトチーム編,反差別国際運動日本委員会刊,2003.10)

哲学・宗教

阿弥陀聖 空也 念仏を始めた平安僧(石井義長著,講談社刊,2003.11):1,600円
 「不自由」論 「何でも自己決定」の限界(仲正昌樹著,筑摩書房刊,2003.9):700円

歴史

宇治市歴史資料館年報 平成13年度(宇治市歴史資料館刊,2002.12)
 おぐら池 入江、大池、巨椋池(宇治市歴史資料館編刊,2003.10)
 可視化された帝国 近代日本の行幸啓(原武史著,みすず書房刊,2001.7):3,200円
 賀茂別雷神社境内諸郷の復元的研究(須磨千穎著,法政大学出版局刊,2001.3):25,000円
 皇后の近代(片野真佐子著,講談社刊,2003.11):1,500円
 国境なき医師団:貫戸朋子(NHK「課外授業 ようこそ

先輩」制作グループ, KTC中央出版編, KTC中央出版刊, 2000.1):1,400円
 昭和史の謎 "檄文"に秘められた真実(保阪正康著,朝日新聞社刊,2003.8):560円 「御聖示を賜りたく天皇直訴事件」所収
 天皇と中世文化(脇田晴子著,吉川弘文館刊,2003.7):2,400円
 わが生涯 生きて愛して闘って(住井すゑ,増田れい子著,岩波書店刊,1995.1) きき手:増田れい子

社会科学・医学

皇居前広場(原武史著,光文社刊,2003.4):760円
 厚生省の誕生 医療はファシズムをいかに推進したか(藤野豊著,かもがわ出版刊,2003.8):2,800円
 国際人権法とマイノリティの地位 現代国際法叢書(金東勲著,東信堂刊,2003.6):3,800円
 国際理解教育と人権 互いの人権を尊重し、地球上の人々と共に生きる子どもを育てる(大阪市小学校国際理解教育研究会編,解放出版社刊,2003.11)
 知っていますか?高齢化社会と人権 一問一答(「知っていますか?高齢化社会と人権一問一答」編集委員会編,解放出版社刊,1994.11)
 天皇観の戦後史(丸山邦男著,白川書院刊,1975.3):2,510円
 日本の大国化とネオ・ナショナリズムの形成 天皇制ナショナリズムの模索と隘路(渡辺治著,桜井書店刊,2001.8):3,000円
 幼児・小学生の人権プロジェクト支援ガイド 人権と保育3(アン・ペロ,フラン・デイビッドソン著,玉置哲淳,戸田有一,橋本祐子編訳,解放出版社刊,2003.9)

芸術・文学

愛といのちと はだしの夫婦愛三十六年(犬田卯,住井すゑ著,大日本雄弁会講談社刊,1957.10)
 アンクルトムズ・ケビンの幽霊(池永陽著,角川書店刊,2003.5):1,300円
 きらい(二宮由紀子文,永島正人絵,解放出版社刊,2003.9)
 母 住井すゑ(増田れい子著,海竜社刊,1998.1)

収集逐次刊行物目次 (2003年10月～12月受入)

～各逐次刊行物の目次の中から編集部判断でピックアップしました～

あすばる 7 (甲賀郡人権センター刊, 2003.9) : 200円
講演録 自らの解放こそ偏見・差別と向き合える 金泰九
きまぐれ書評

『あなたが世界を変える日』(セヴァン・カリス=ス
ズキ著) / 『部落史50話』(中尾健次著)

明日を拓く 51 (東日本部落解放研究所刊, 2003.10) :
1,000円

特集 研究者たちに聞く 近現代部落史研究のこれまでと
これから

大串夏身さん 部落史研究と人権問題 / 黒川みどりさ
さん 私の部落史研究のみちのりをたどりなおすと / 朝
治武さん 運動史から切りこむ / 小林丈広さん 部落
史からの問いかけ / 宮前千雅子さん 部落史と女性史
と

<分類>する共同体 『汚穢と禁忌』の読み方2 井桁碧
国土・境界・神仏習合・ケガレ(中) 近世被差別身分
を発生史的に遡る 吉田勉

明日を拓く 52・53 (東日本部落解放研究所刊, 2003.1
1) : 2,000円

特集 部落の青年の現在

関東の部落の青年たちとささえあって 斎川政男さん
 / 千葉から発信するヒューマンネットワークを / 無理
せず自然に 長谷川多実さん / 結婚差別を受けて 高橋
弥生 / 部落青年の意識の現在について 鍋島祥郎さん
に聞く / 現代部落の若者の意識について 5人のインタ
ビューをもとに 坂井康人

特別対策終了後の解放運動 片岡明幸

敗戦前と後の部落解放運動の歩み ささやかな体験と資
料から 中山英一

「波崎事件」 獄中から40年、無実の叫び! 危機的状況に
ある富山常喜死刑囚と恩赦出願 内藤武

関東大震災80周年と「福田村事件」 市川正廣

跡地発 23 (大阪市よさみ人権協会刊, 2003.10)

シリーズ十人十色の部落問題 16 男のわたしが家庭科を
教える 杼村正雄

いま、この街で 22 浅香太鼓集団「獅子」

ウイングスきょうと 58号 (京都市女性協会刊, 2003.
10)

コミックで考えるジェンダー 『ハッピーエンド』(ジョー
ジ朝倉著) 村上知彦

図書情報室新刊案内

『「男女共同参画」が問いかけるもの 現代日本社会
とジェンダー・ポリティクス』(伊藤公雄著) /

『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェン
ダー学入門』(若桑みどり著) / 『わたしの葬儀

「旅立ち」をめぐる21のヒント』(山本ふみこ著)
 / 『一人で生きる勇気』(ドロシー・ギルマン著)

ウイングスきょうと 59号 (京都市女性協会刊, 2003.
12)

コミックで考えるジェンダー 『夢の温度』(南Q太著)
村上知彦

図書情報室新刊案内

『ライフコースとジェンダーで読む家族』(岩上真珠
著) / 『お～い父親 Part1 子育て篇』(汐見稔幸著)

/ 『子宮癌のおかげです 女弁護士的全摘57日間の記
録』(渥美雅子著) / 『メグさんの女の子・男の子
からだブック』(メグ・ヒックリング著)

解放教育 430 (解放教育研究所編, 2003.10) : 710円

特集 多文化共生教育の今 子どもたちの学習権保障をめ
ざす

図書紹介 『人権の新しい地平 共生に向けて』(岡村達
雄・玉田勝郎責任編集) 武藤啓司

解放教育 431 (解放教育研究所編, 2003.11) : 710円

特集 豊かな人権総合学習をつくる 視座と実践的方法・
手法の工夫

解放教育 432 (解放教育研究所編, 2003.12) : 710円

特集 生活文化学習のすすめ 知恵のある生活者を育てる
月刊解放の道 237号 (全国部落解放運動連合会刊, 200

3.10) : 350円

第32回人権と部落問題全国研究集会

- 基調報告「21世紀に人権と民主主義、住民自治を花開かせるために」丹波正史/シンポジウム「いま地域社会で人権はどうなっているか」
- 月刊解放の道 239号(全国部落解放運動連合会刊, 2003.12): 350円
- 人権問題についての断章3 人権教育啓発推進センターの活動に関連して 峯岸賢太郎
- 革 22号(革の会刊, 2003.11): 500円
- 追悼 一瀬さん
- ブラクラ物語 南一揆
- 『闊歩する在日』(抜粋)とその詩想 丁章
- けがれ考 寺下真治
- かわとはきもの 125(東京都立皮革技術センター台東支所刊, 2003.9)
- 靴の歴史散歩 70 稲川實
- 皮革関連統計資料
- 関西大学人権問題研究室紀要 47号(関西大学人権問題研究室刊, 2003.9)
- 障害をもつアメリカ人法と"必要な配慮"について(上) 伊藤健市
- グループホームへの環境移行による精神障害者の自律度と社会参加度の変化 荒木兵一郎
- アメリカ人の働き方は変化したのか(1) サンフォード・M・ジャコービ著「キャリア型の仕事は絶滅に向かう運命か」伊藤健市
- 「大学教育と女性」2002年度関西大学学生の意識調査 女性問題研究班
- 季節よめぐれ 190号(京都解放教育研究会刊, 2003.11)
- 城陽高校部落史学習教員用資料 前近代編
- 季節よめぐれ 191号(京都解放教育研究会刊, 2003.12)
- 東九条の歴史と現状 在日韓国・朝鮮人問題 宇野豊
- 季節よめぐれ 192号(京都解放教育研究会刊, 2004.1)
- 城陽高校部落史学習教員用資料 近代編
- 季節よめぐれ 193号(京都解放教育研究会刊, 2004.2)
- 共に輝いて生きる社会とジェンダーの視点~学校・家庭においてとりくむべき課題~ 古久保さくら
- 京都市政史編さん通信 15号(京都市市政史編さん委員会刊, 2003.9)
- 「三大事業」経営移行期の市長と市会 参与新設と大野盛郁の参与選出をめぐって 鈴木栄樹
- 京都市政史編さん通信 16号(京都市市政史編さん委員会刊, 2003.12)
- 八瀬童子の明治以降 『八瀬童子会文書』近代史料補遺 宇野日出生
- キリスト教社会問題研究 52号(同志社大学人文科学研究会刊, 2003.12)
- 「からゆき」と婦人矯風会 2 九州の一地域女性史の視角から 倉橋克人
- グローブ 35(世界人権問題研究センター刊, 2003.10)
- 門付け芸能考3 ちよろけん 山路興造
- 友よ! 井岡康時
- クロノス[時の鳥] 19(京都橘女子大学女性歴史文化研究所刊, 2003.10)
- 性と生殖をめぐる諸問題 7 国家による人口政策 悪夢の『侍女の物語』1 鎌田明子
- BOOK REVIEW 『近代フェミニズムの誕生 メアリ・ウルストンクラフト』(安達みち代著)鎌田明子
- 研究所通信 302(部落解放・人権研究所刊, 2003.10): 100円
- 最近の文献から 1 『部落問題に対する意識形成調査報告書』(部落解放・人権研究所編)
- 最近の文献から 2 『自己実現・社会参加への誘導要因効果的な成人教育の企画・運営のためのケーススタディ』(部落解放・人権研究所編)
- 研究所通信 303(部落解放・人権研究所刊, 2003.11): 100円
- 最近の文献から 『国際人権法とマイノリティの地位』(金東勲著)
- 研究所通信 304(部落解放・人権研究所刊, 2003.12): 100円
- 最近の研究動向 日本労働社会学会シンポジウム「若年層の就業状況と労働社会学」に参加して 内田龍史
- 国立女性教育会館研究紀要 7(国立女性教育会館刊, 2003.8)
- テーマ 雇用・福祉・ジェンダー
- 書評
- 『ジェンダー化される身体』(荻野美穂著) 中山まき子 / 『戦後日本の女性政策』(横山文野著) 伊藤セ

- ツノ『生涯学習の創造 理論と実践』(宮坂広作著)
上村千賀子ノ『「子育て」の教育論 日本の家庭における女性役割の変化を問う』(真橋美智子) 天野寛子
本の紹介『岩波 女性学事典』(井上輝子・上野千鶴子・江原由美子・大沢真理・加納実紀代編) 門脇厚司
こべる 128(こべる刊行会刊, 2003.11): 300円
続・知的障害者を援助することとは何か 高田嘉敬さん
のご指摘(7月号)に応えつつ 岡崎拓巳
エロ・グロ・テロ・過労・岐路 吉田智弥
吉田智弥に 土方鐵
こべる 129(こべる刊行会刊, 2003.12): 300円
『同和利権の真相』の深層 角岡伸彦
障害者を援助することとはなにか 石原英雄
雑学 28号(下之庄歴史研究会刊, 2003.11): 700円
一向一揆・家康と孫一 五輪塔也
夜間中学とその教育運動 吉川弘
被差別部落を襲ったコレラ 池田士郎
関東大震災80周年のいま 金井英樹
シンボ場外乱闘篇 続・腹ふくるる思いに耐えかねて 吉田智弥
異能者論 1 上野茂
私の部落問題 5『天理大学民族差別発言・集団暴行事件』
3 小坂正一
中上健次私論ノート 13 高桑健二
狭山差別裁判 358号(部落解放同盟中央本部中央狭山闘争本部刊, 2003.10): 300円
緊急特集 狭山弁護団が最高裁に補充書・新証拠を提出
月刊滋賀の部落 354号(滋賀県同和问题研究所刊, 2003.10): 400円
部落問題と教科書の今 水谷孝信
月刊滋賀の部落 特別号 355号(滋賀県同和问题研究所刊, 2003.11): 600円
座談会 人権教育を考える 「人権教育推進プラン」を手がかりに 梅田修, 福井雅英, 中川謙二, 川辺勉
月刊滋賀の部落 目次 330号~353号
月刊滋賀の部落 356号(滋賀県同和问题研究所刊, 2003.11): 400円
近江八幡市における同和问题の解決状況 近藤恭司
人権21 調査と研究 166(岡山部落問題研究所刊, 2003.10): 650円
資料から見た新見地方の農村生活 7 穢多 竹本豊重
自治体史と部落問題 3『牛窓町史 通史編』 「凡例」
記載に関連して 寺見敬三
史料は語る 10 倉敷村の牢番 10 大森久雄
人権21 調査と研究 167(岡山部落問題研究所刊, 2003.12): 650円
近代を拓いた美作の女たち 竹内文 8 女子教育の理想をかかげて 香山加恵
資料から見た新見地方の農村生活 8 「岡山県史」に見る「穢多」と「非人」 竹本豊重
自治体史と部落問題 4『吉井町史』 「過去への省察」
寺見敬三
人権をめぐる教育・学習 6 アイヌ民族をめぐる教育と課題 4 生田周二
人権と部落問題 708(部落問題研究所刊, 2003.9): 1,155円
特集 スポーツと人権
京都市の「同和中毒都市」への転落過程 その要因の歴史的究明 杉之原寿一
2002年度部落問題研究所定期誌総目次
人権と部落問題 709(部落問題研究所刊, 2003.10): 630円
特集 有事法制と人権
文芸の散歩道 百合子の警鐘「禰宜様宮田」 菱崎博
自立への歩み 村上誠子の半生 7 結婚生活と夫の入党 芝房治
人権と部落問題 710(部落問題研究所刊, 2003.11): 630円
特集 全同教の50年
文芸の散歩道 西鶴作品に著された近世賤民たち 『好色二代男』より 小原亨
本棚
『人権教育の検証 同和教育からの転換の帰結』(梅田修著) 原田久ノ『橋のない川 住井すゑの生涯』(北条常久著) 川端俊英
自立への歩み 村上誠子の半生 8 岐路に立つ解放路線 芝房治

- 人権と部落問題 711 (部落問題研究所刊, 2003.12) : 630円
 特集 日本における民族問題 2 座談会 在日コリアンの民族教育 高賛侑・河野律・小牧薫
 文芸の散歩道 『破戒』の特殊性と普遍性 川端俊英
 本棚
 『戦争をはさんだ年輪 一歴史研究者のあゆみ』(岩井忠熊著) 末川清 / 『同和教育行政の崩壊 3・25判決』(植山光朗著) 杉原秀典
 自立への歩み 村上誠子の半生 9 解放同盟との訣別 映画「橋のない川・第二部」の上映運動 芝房治
 月刊人権問題 322 (兵庫人権問題研究所刊, 2003.10) : 350円
 近代の社会的差別 64 近代日本の都市社会3 布川弘
 月刊人権問題 323 (兵庫人権問題研究所刊, 2003.11) : 350円
 アイヌ民族問題の基本的争点 杉尾敏明
 「大学における開放制教員養成」について 沖縄で考えたこと 森田満夫
 拉致問題の周辺 そして総選挙とマニフェスト 成瀬明彦
 月刊人権問題 324 (兵庫人権問題研究所刊, 2003.12) : 350円
 なぜ闘ったのか ハンセン病違憲国賠訴訟 国本衛
 真の人間回復・人権回復のために ハンセン病問題の現状と課題 大槻倫子
 いのちの尊厳を見つめて 塔和子ドキュメンタリー映画「風の舞」 川崎正明
 身同 23号 (真宗大谷派同和推進本部編, 2003.6) : 1,000円
 特集 全国水平社創立の精神に学ぶ
 人権週間ギャラリー展シンポジウム「水平社創立の精神と浄土真宗」/水平社の原像 「水平社創立の地から」 駒井忠之
 教団近代史の見直しに向けて7
 戦争と人間 金城実 / I'm Ainu 結城幸司 / 真宗大谷派におけるハンセン病問題に関する真相究明に向けて
 「慰問布教」に関する考察1 訓覇浩
 部落解放運動の今日的課題
 妙覚寺本堂再興が語る世界 「明和4年 当寺来由再興因縁記」から 寺澤亮一 / 「差別するものの解放」論の課題 辻内義浩
 書評 『チッソは私であった』(緒方正人著) 大屋徳夫
 月刊スティグマ 94 (千葉県人権啓発センター刊, 2003.10) : 500円
 特集 東葛同和教育研究会結成
 月刊スティグマ 95 (千葉県人権啓発センター刊, 2003.11) : 500円
 特集 第5回ちば人権展～上総・安房の集い
 月刊スティグマ 96 (千葉県人権啓発センター刊, 2003.12) : 500円
 特集 今後の千葉県の人権施策 1
 全朝教通信 京都版 47 (全国在日朝鮮人教育研究協議会京都刊, 2003.10)
 歴史をどう教えるか 日本と朝鮮の関係を中心に 田辺九二彦
 本校の人権教育 西代中学校 韓裕治
 2001年度文化祭のとりくみ 「戦争の傷跡 戦争中の天理」 高野真幸
 「ナショナリズム」とどう向きあうか 阪本宏児
 蛇行社通信 0号 (吉田智弥刊, 2003.10)
 「反天皇」を記憶せよ、考えよ
 同和教育 499 (全国同和教育研究協議会編, 2003.10) : 150円
 人権のまちをゆく 19 人権ゆかりの地をたずねて～寺社と芸能の場～
 人権文化を拓く 80 思い合うこと 藤原健
 同和教育 500 (全国同和教育研究協議会編, 2003.11) : 360円
 教科書記述の変遷と同和教育(抄) 古川正博
 同和教育 501・502合併号 (全国同和教育研究協議会編, 2003.12) : 300円
 人権文化を拓く 81 太陽の島・奄美～苦難の歴史を乗り越えて～ 仙田隆宜
 人権文化を拓く 82 アジア諸国との関わりで問われる人権 望月賢一郎
 どの子も伸びる 332 (部落問題研究所刊, 2003.11) : 735円
 「人権教育」とは 補助教材『心のノート』の問題点 4

谷口幸男

どの子ども伸びる 333 (部落問題研究所刊, 2003.11) :
735円

「人権教育」とは 人権教育学習教材「豊かなつながりをもとめて」 谷口幸男

ねっとわーく京都 177 (ねっとわーく京都刊行委員会刊, 2003.10) : 500円

ウォッチャーレポート3 市自ら決めた要綱を無視、全員支給される同和奨学金 井関佳法

ねっとわーく京都 180 (ねっとわーく京都刊行委員会刊, 2004.1) : 500円

長期家賃滞納市職員69人! 馬野一

はらっぱ 234 (子ども情報研究センター刊, 2003.10) :
700円

特集 HIVと人権

私のお気に入り

『この世で一番の奇跡』(オグ・マンディーノ著) /

『月刊・母の友』(福音館書店刊)

はらっぱ 235 (子ども情報研究センター刊, 2003.11) :
700円

特集 真の「多文化共生」のために 外国人の子どもの教育を考える

私のお気に入り

『子どものエンパワメントと子どもオンブズパーソン』

(吉永省三著) / 『明かりの向こう側』(上仲まさみ著)

はらっぱ 236 (子ども情報研究センター刊, 2003.12) :
700円

特集 住基ネットを知る

私のお気に入り

『原則統合をもとめて 「北海道・障害児普通学級入級訴訟」を再考する』(古川清治著) / 『火の鳥』

(手塚治虫作)

ヒューマンライツ 187 (部落解放・人権研究所刊, 2003.10) : 525円

現代史の目 26 猪飼野と平野川 小山仁示

参加型と呼ばない人権学習 悪夢には力がある 7 岡田耕治

書評 『アジアの民主主義と人間開発』(吉田勝次著)

武者小路公秀

ヒューマンライツ 188 (部落解放・人権研究所刊, 2003.11) : 525円

特集 雇用問題のゆくえ

現代史の目 27 平民社百周年 幸徳秋水の反戦論 小山仁示

参加型と呼ばない人権学習 親をたのしむ 8 岡田耕治
書評

『マヤ先住民族 自治と自決をめざすプロジェクト』

(IMADR-MJPグアテマラプロジェクトチーム編) 計良光範 / 『めざめる女 つばやく男 富田林発:ジェンダー

エッセイ集』(ジェンダー・学び・プロジェクト編)

伊田広行

最近読んだ本

『行動する失業者 ある集団行動の社会学』(ディディエ・ドマジエール、マリア=テレザ・ピニョニ著)

/ 『フェミニズムはみんなのもの 情熱の政治学』(ベル・フックス著) / 『人権相談ワークショップ まわりと私のつながりを求めて』(白井俊一著) / 『世界の半分が飢えるのはなぜ?ジグレル教授がわが子に

語る飢餓の真実』(ジャン・ジグレル著)

ヒューマンライツ 189 (部落解放・人権研究所刊, 2003.12) : 525円

衡平運動80周年、連帯の精神受けつぎ 金仲燮

人種概念の洗い直しから人種差別理解の可能性を探る

国際シンポジウム「人種概念の普遍性を問う」を振り返って 竹沢泰子

現代史の目 28 権勢に抗した田淵豊吉代議士2 朝鮮人虐殺事件を追及 小山仁示

参加型と呼ばない人権学習 プロポーズ 9 岡田耕治

書評 『人の世の冷たさ、そして熱と光 行動する国際政治学者の軌跡』(武者小路公秀著) 戸塚悦朗

広島修大論集人文編 83 (広島修道大学人文学会刊, 2003.9)

差別と知識 "差別と教育"の比較教育社会学へ向けて 大庭宣尊

6年3組ジェンダーエスノグラフィー 大庭宣尊・川平宏美

部落解放 525号(解放出版社刊, 2003.11) : 630円

特集 市町村合併と人権・同和行政

差別の精神史 6 差別をめぐる地域的な多様性 赤坂憲雄
読書の秋お薦めの一冊 『「水平社伝説」からの解放』
(朝治武、黒川みどり、関口寛、藤野豊著) 「こうあつてほしい」からの解放 竹森健二郎

共生社会実現をはばむ「入管法」改悪の動き 渡辺英俊
世界屠畜考 12 モンゴル篇下 生の営みのために殺すことは菩薩行である！ 内澤句子

「うち、産むねん」母になることを選ぶ十代の少女たち
9 十代ママへの深い愛情と共感その原点にあるもの 社納葉子

部落解放 526号(解放出版社刊, 2003.12) : 630円

特集 部落のNPO活動

差別の精神史 7 折口信夫が再発見されるとき 赤坂憲雄
本の紹介 『中上健次論 熊野・路地・幻想』(守安敏司著) 朝治武

奄美「復帰」50年目の視点 「日本人」から「無国籍人」へ 前利潔

世界屠畜考 13 韓国犬肉篇 Dr.ドッグミート、動物愛護
団体と闘う 内澤句子

「うち、産むねん」母になることを選ぶ十代の少女たち
10 みんなを変えてきた「ころころくらぶ」 社納葉子

『部落解放』総目次 511号~526号

部落解放 527号(解放出版社刊, 2004.1) : 630円

特集 生命操作と人権

差別の精神史 8 穢れの民族史は可能か 赤坂憲雄
本の紹介

『カストロ 銅像なき権力者』(戸井十月著) / 『人権政策学のすすめ』(江橋崇、山崎公士編著) / 『解死人の風景 差別があたりまえだったころ』(石瀧豊美著) / 『早わかり人権教育小事典』(中野陸夫編)

「法」の期限切れと同和行政の基礎基本 奥田均

「なぜ部落は差別されたのか？」から「なぜ部落を差別したのか？」へ (財)鳥取県部落解放研究所における差別論に関する議論から 福田和博

東北アジアの戦争博物館が語りかけるもの 君塚仁彦

世界屠畜考 14 芝浦屠場見学 上 肉は「作られる」ものなのだ 内澤句子

部落解放研究 154号(部落解放・人権研究所刊, 2003.10) : 1,000円

特集 企業の社会的責任と評価

グローバル化時代の企業と人権 中村清二 / 社会性評価結果からみる日本企業の現状と課題 岸本幸子 / アジアの児童労働と企業 香川孝三

膠の文化 森田恒之

西成差別の現状と課題 市民アンケート調査の結果から
西成差別実態調査研究会

部落出身者に対する結婚の容認をめぐる相互作用 大阪府2000年調査から 齋藤直子

地域の成人式にみる教育コミュニティづくり 大阪府豊中市泉丘地域における「若人のつどい」から 大橋保明
書評

『民族関係における結合と分離 社会的メカニズムを解明する』(谷富夫編著) 杉原達 / 『企業社会のリコンストラクション』(谷本寛治著) 小林義彦

部落解放研究 155号(部落解放・人権研究所刊, 2003.12) : 1,000円

特集 世系にもとづく差別の国際動向

国連と部落差別 歴史・現状・課題 友永健三 / 人種差別撤廃条約における「人種」「世系」「カースト」
パトリック・ソーンベリー

シカゴ教育改革の理念と学校再建への取り組み(上) 池田寛

障害者権利条約に関する第2回特別委員会を終えて 条約作成をめぐる現況と課題 川島聡

野宿者の析出に見られる社会的不平等の世代間再生産

野宿者の生育家族からの検討 妻木進吾

北天の英雄アテルイ 上田正昭

書評 『地域史のなかの部落問題 近代三重の場合』(黒川みどり著) 重松正史

部落解放ひろしま 67号(部落解放同盟広島県連合会刊, 2003.11) : 1,000円

特集 青年部活動のこれから

解放運動的人間像 11 自己疎外の群像に眼を見張る 小森龍邦

書評 『木綿橋からもういちど』(杉原耕司著) 小早川明良

部落解放史ふくおか 111(福岡県人権研究所刊, 2003.9) : 1,050円

特集 新たな出発 福岡県人権研究所の発足

座談会 福岡県人権研究所に期待する / 辺境で診る、辺境から見る 国際医療協力の19年 中村哲 / 部落史研究のこれから 竹森健二郎

言論・表現・報道の自由が危ない 個人情報保護法と言論規制 井手研一

ハンセン病と古代・中世の日本仏教 上 遠藤和夫

書評 『同和利権の真相』（寺園敦史＋一ノ宮美成＋グループ・K21編著），『同和利権の真相2』（一ノ宮美成＋グループ・K21編著） 加藤陽一

民権協ニュース 153（在日韓国民主人権協議会刊，2003.8）：300円

書籍紹介 『知の攻略 思想読本4 ポストコロニアリズム』（姜尚中編）

民権協ニュース 154（在日韓国民主人権協議会刊，2003.9）：300円

書籍紹介 『当事者主権』（中西正司，上野千鶴子著）

民権協ニュース 155（在日韓国民主人権協議会刊，2003.10）：300円

書籍紹介 『日本の中の世界 つくられるイメージと対話する個性』（原尻秀樹著）

もやい ながさき部落解放研究 46号（長崎県部落史研究所刊，2003.10）：700円

特集 < 部落問題と人権を考える > 講座

アイデンティティ・ポリティクスを超えて 在日韓国・朝鮮人の現状と今後 金泰泳 / 人権啓発センターと私 西尾紀臣

ホームページを活用するために 池田芳信

貿易都市長崎と「かわた」集団 阿南重幸

史料紹介 皮類寄（その2） 中村久子

Rights ライツ 53（鳥取市人権情報センター刊，2003.10）

今月のいちおし！ 『グロテスク』（桐野夏生著） 坂根政代

Rights ライツ 54（鳥取市人権情報センター刊，2003.11）

今月のいちおし！ 「ボーリング フォー コロンバイン」 澤田みどり

Rights ライツ 55（鳥取市人権情報センター刊，2003.12）

今月のいちおし！ 『生きなおす、ことば』（大沢敏郎著） 坂根政代

広報誌リバティ 23（大阪人権博物館刊，2003.10）

新しい常設展示に期待するもの 赤坂憲雄

りべらしおん 2号（福岡県人権研究所刊，2003.11）

書籍紹介 『松本治一郎』（福岡県人権研究所編）

ルシファー 6（水平社博物館刊，2003.10）

「ハンセン病、差別と隔離の90年」を開催して 仲林弘次
「高松結婚差別裁判から70年、結婚差別はいまも…」を開催して 仲林弘次

「高松結婚差別裁判から70年、結婚差別はいまも…」展のメッセージ 吉村智博

座談会 「水平社博物館リニューアル展示について」

公開講座報告REPORT

全国水平社創立期における阪本清一郎 駒井忠之 / 戦前奈良県の労働運動～水平社運動との関連を中心に 久保在久

新聞書評等（2003年10月～12月受入）

～各新聞から書評・映画評・VIDEO評等をピックアップしました～

解放新聞 2139号（解放新聞社刊，2003.10.6）：120円
今週の1冊 『動物化する世界の中で 全共闘以降の日本、ポストモダン以降の批評』（東浩紀、笠井潔著）

襲われた部落 「解放令」反対一揆を追って 「解放令」反対一揆で殺されたのは乳飲み子だった 1 上杉聡

シリーズ 被差別部落とキリスト教 被差別者の思いに応

えたか 1 藤野豊

ハンセン病問題 これまで / これから 6 ハンセン病の歴史（戦後・2） 田中等

解放新聞 2142号（解放新聞社刊，2003.10.27）：80円

今週の1冊 『天皇と日本人の課題』（井崎正敏著）

解放新聞 2143号（解放新聞社刊，2003.11.3）：120円

今週の1冊 『エンパワーメントの教育学 ユネスコとグラムシとポスト・ポストモダン』(鈴木敏正著)

襲われた部落 「解放令」反対一揆を追って 「解放令」反対一揆で殺されたのは乳飲み子だった 2 上杉聡
シリーズ 被差別部落とキリスト教 被差別者の思いに応えたか 2 藤野豊

ハンセン病問題 これまで/これから 7 ハンセン病の歴史(戦後・3) 田中等

解放新聞 2144号(解放新聞社刊, 2003.11.10): 80円
古地図・古絵図刊行および展示に対する基本的考え方について 部落解放同盟中央本部

今週の1冊 『「愛国」問答 これは「ぶちなショナリズム」なのか』(香山リカ+福田和也著)

山口公博が読む今月の本

『モハメド・アリ 合衆国と闘った輝ける魂』(田原八郎著)/『破天 一億の魂を掴んだ男』(山際素男著)/『火花 北条民雄の生涯』(高山文彦著)

今月のおすすめ 『人権政策学のおすすめ』(江橋崇・山崎公士編著)

解放新聞 2145号(解放新聞社刊, 2003.11.17): 80円
今週の1冊 『世界のプライバシー権運動と監視社会』(白石孝, 小倉利丸, 板垣竜太編)

解放新聞 2146号(解放新聞社刊, 2003.11.24): 80円
今週の1冊 『1冊でわかる文学理論』(ジョナサン・カラー著)

解放新聞 2147号(解放新聞社刊, 2003.12.1): 80円

今週の1冊 『ブッシュの「神」と「神の国」アメリカ』(栗林輝夫著)

山口公博が読む今月の本

『タオにつながる』(加島祥造著)/『漂蕩の自由』(檀一雄著)/『アラーの神にもいわれはない ある西アフリカ少年兵の物語』(アマドゥ・クルマ著)

ハンセン病問題 これまで/これから 8 ハンセン病の歴史(戦後4) 田中等

解放新聞 2148号(解放新聞社刊, 2003.12.8): 80円

今週の1冊 『「水」戦争の世紀』(モード・パーロウ, トニー・クラーク著)

ハンセン病元患者にたいするホテルの宿泊拒否に抗議する声明

解放新聞 2149号(解放新聞社刊, 2003.12.15): 80円

今週の1冊 『島崎こま子の「夜明け前」 エロス愛・狂・革命』(梅本浩志著)

解放新聞 2150号(解放新聞社刊, 2003.12.22): 80円

今週の1冊 『天皇家の財布』(森暢平著)

山口公博が読む今月の本

『十五少年漂流記』(ジュール・ヴェルヌ著)/『強く美しいもの 日本美探訪』(土門拳写真・文)/『深い河』(遠藤周作著)

今月のおすすめ 『江戸・東京の被差別部落の歴史』(浦本誉至史著)

解放新聞 2151号(解放新聞社刊, 2004.1.5): 160円

著者に聞く 鎌田慧さん

中上健次 その原風景を歩く 守安敏司・橋本要

武者小路公秀さんに聞く

お正月に読みたいこの1冊

『挑発する知』(姜尚中, 宮台真司著)/『生きなおよす、ことば』(大沢敏郎著)/『個人情報保護の論点』(奥津茂樹著)

解放新聞 441(岡山解放新聞社刊, 2003.9)

新刊紹介 『放送禁止歌』(森達也著)

書評 『不平等社会日本 さよなら総中流』(佐藤俊樹著)

解放新聞改進黨 311号(部落解放同盟改進黨支部刊, 2003.8)

部落の高齢化問題を考える 5 介護保険4

私の本棚 154 『竹田の子守唄 名曲に隠された真実』(藤田正著)

解放新聞改進黨 312号(部落解放同盟改進黨支部刊, 2003.9)

私の本棚 155 むこうにみえるは 2 シンポジウム「被差別部落の人口の流入をどうとらえるか」

解放新聞京都市版 145号(部落解放同盟京都市協議会刊, 2003.11): 100円

書評 『学校の境界』(中島勝住編著)

京都市内の被差別部落の過去・現在・未来 歴史編 12 四条天部又次郎役 2 山内政夫

解放新聞京都市版 146号(部落解放同盟京都市協議会刊, 2003.12): 100円

紹介 『被差別部落と京都再生のまちづくり』(NPO京都人権啓発センター・ネットからすま編)

京都市内の被差別部落の過去・現在・未来 歴史編 13 四

条天部又次郎役 3 山内政夫
 解放新聞東京版 581号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.10.1) : 90円
 東京南部品川の被差別部落の歴史 1 商業・流通・文化の拠点 部落の形成と役割が重要 和氣正典
 解放新聞東京版 582号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.10.15) : 90円
 東京の人権博物館～展示と社会啓発の課題 5 東京都人権プラザ 小田原滯
 東京南部品川の被差別部落の歴史 2 近世品川と被差別民の構図 長吏部落の成り立ちに注目 和氣正典
 解放新聞東京版 583号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.11.1) : 90円
 東京南部品川の被差別部落の歴史 3 近世品川と被差別民の生業と役割 和氣正典
 解放新聞東京版 584号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.11.15) : 90円

東京の人権博物館～展示と社会啓発の課題 6 皮革産業資料館 友常勉
 本紹介 『江戸・東京の被差別部落の歴史』(浦本誉至史著)
 東京南部品川の被差別部落の歴史 4 近世南部の非人の生業と役割 和氣正典
 解放新聞東京版 585号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.12.1) : 90円
 東京南部品川の被差別部落の歴史 5 幕末における品川の非人の窮状と「解放令」 和氣正典
 解放新聞東京版 586号 (解放新聞社東京支局刊, 2003.12.15) : 90円
 東京南部品川の被差別部落の歴史 6 明治期以降の品川の被差別部落 和氣正典
 なら解放新聞 703号 (奈良県部落解放同盟支部連合会刊, 2003.9)
 研究あれこれ 新撰組と被差別部落 吉田栄治郎

事務局より

前号でお知らせしましたように、今年度も部落史連続講座を開催しています。昨年12月には古代を井上満郎さん(京都産業大学教授)、今年1月には中世を山路興造さん(藝能史研究会代表委員)にお話ししていただきました。毎回40名前後の方々が熱心に受講して下さっています。今号では古代の講座報告を中島智枝子さんをお願いしました。次号では、中世及び近世の報告を掲載予定です。

部落史連続講座 『京都の部落史』にみる人びとの仕事と暮らし
 第3回 近世編 江戸時代の穢多・非人の生業

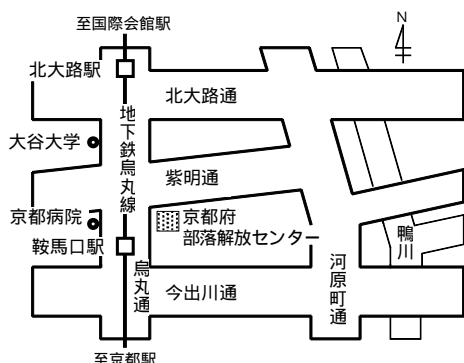
講師：山本尚友さん(世界人権問題研究センター客員研究員)

日時：2月19日(木)午後6時～8時

場所：京都府部落解放センター2階実習室 資料代：300円(会員は200円)

Memento 15

発行日 2004年1月25日 / 編集・発行 京都部落問題研究資料センター



所在地 〒603-8151
 京都市北区小山下総町5-1
 京都府部落解放センター3階
 TEL/FAX 075-415-1032
 U R L <http://www.asahi-net.or.jp/~qm8m-ndmt/>
 開室日時 月曜日～金曜日 第2・4土曜日 10時～17時
 (祝日・年末年始は休みます)
 交通機関 市営地下鉄烏丸線「鞍馬口」駅(京都駅より約10分)下車 北へ徒歩2分